

発言No.

7

受付No. 4

令和 5年 6月 5日

16時 17分 受付

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 18番

氏名 佐々木 豊治

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

### 1. 地域井戸端会で出された要望について

今回の地域井戸端会で伺った地域からの要望を取り上げた。

#### (1) 旧久佐小学校のグラウンド整備について

①金城町久佐の旧小学校跡のグラウンド整備について、地域唯一の当グラウンドを活用し、地域の運動会やグラウンドゴルフなど行い、地域住民の交流や健康増進の場としたいとのことだったが、グラウンドの草は伸び放題でぬかるんだ箇所もあり、周辺の木々も伸びて大きくなっており、利用できる状況ではない。

一年前にはこのグラウンド整備についても陳情がでており、採択もされておりますが、対応がどのようにになっているのか伺う。

#### (2) 市街地から遠方地域への支援について

①旭町都川地域で出された意見で、当地域は、市街地からも遠方にあり、地域内の移動も遠くなり、冬は気温も低く積雪も多い地域と認識している。また、高齢化率も70%を超える地域で、市内でも一番高い地域でもある。市には市民に対し様々な助成金や支援制度があるが、当該地域のように

遠方で環境が厳しい地域については同一の制度内容ではなく、加算のような配慮が必要なのではないかとの意見があった。

具体的には、移動に距離がある地域なので、敬老乗車券については少しそれを考慮したり、まちづくり交付金についても「寒冷地加算」を考えてほしいという意見だったが所見を伺う。

## 2、若者住宅取得支援事業補助金について

今年度から、若者世代定住拡充のため、「若者支援ファンド事業」が始まっている。

①この事業の対象者は39歳以下の若者となっているが、「若者住宅取得支援事業補助金」については、40歳を過ぎた頃から収入とのバランスも考え、住宅取得を検討する年代になるのではないか。この事業について、対象年齢をあげてほしいとの指摘や要望が複数寄せられている。

この若者住宅取得支援事業補助金については、対象年齢をあげてほしいと思うが所見を伺う。

## 3、青少年サポートセンターの機能拡充について

①総務文教委員会で先日青少年サポートセンターを視察した。

ひきこもりやニート対策の施設として当市では重要な施設と感じており、相談業務も行いながらしまね西部若者サポートステーション（サポステ）やジョブカフェしまねなどの施設につなげる対応も多いようだが、2部屋しかないため相談業務が満足にできない状況にある。相談業務が確保できるスペースが必要であると思うが所見を伺う。

②青サポの所管は学校教育課のようだが、ひきこもりやニート対策などの対応が多く行われる場であるため、福祉の視点での対応が求められると思う。よって福祉関係の担当にすべきと思うが所見を伺う。

## 4、不登校対策について

①令和4年度の不登校の状況を把握されていたら説明をしてほしい。

②令和3年度の数値で年間30日以上欠席した児童生徒は110人で全体の3%とのことだった。

山びこ学級に通える子どもたちもごくわずかと認識しているが、学校にも山びこ学級にも行けない子どもたちにどのような対応がなされているのか伺う。

③浜田市にもフリースクールのような、児童生徒が安心して集える居場所の早期設置が必要と考える。

前は春日井市のフリースクールの取組を話したが、同じ愛知県の岡崎市の取組も少し話したい。

岡崎市は市内の公立中学校にあった校内適応指導教室を発展的に解消し、「F組」と呼ばれる校内フリースクールを2020年度に3校に設置。長期欠席者が減少傾向にあるなど確かな手応えがあったことから増設を続け、22年度には14校に設置され、23年度には20校全校で展開する目標を掲げている。

「F組」の理念は大きく5つで、特にカギとされているのは、「①適応するのは生徒ではなく学校、②通常教室と同じ1つの教室として扱うことの2点のようです。また、③校内で信頼の厚いエース級の教員を担任におくこと、④生徒たちを温かく迎える支援員の配置、⑤教室復帰ではなく社会的自立を目指す。

この「F組」を立ち上げた市教育委員会教育相談センター所長はフリースクールの目的を「すべての子どもに光をあてる教育の推進として、何らかの理由で学校に来れない生徒たちがいる中で、誰一人取り残すことの無い個別に最適化された学びの場を保証し、多様な教育機会を確保したいとの考えで校内フリースクールを運営している」といわれている。

また、「F組」を参考に独自に校内に居場所づくりを始める公立小学校も増えているとのこと。

浜田市にも、子どもの居場所としての校内フリースクールのような居場所の受け皿を、早期に取り組むべきと思うが所見を伺う。